

平成23年度 第2回CCCコミュニケーション関係学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成23年9月16日(金) 14:00~20:00

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者: 阿部委員 北根委員

(事務局) 井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 前回の検討を踏まえて学士力の実現に必要なICTを活用し教育改善の授業モデルを検討した。

2. 教育改善モデル2について

前回までの検討を踏まえて、委員から教育改善モデル2について説明があり、見直しを行なった。

(1) 提案の概要

委員から資料を基に報告があり、メディアリテラシーを身に付けさせるための授業を実現するため、「メディアの特性を理解した上で、その可能性と限界を認識しながら主体的に活用する能力を身に付けさせる。」ことを目指すこととした。

(2) 検討内容

① 到達度として学生が身につける能力を学士力の到達目標の到達度に合わせた。

② 授業のねらいとしては、到達度に掲げた能力を達成する授業の一例、到達度の達成の困難な背景と困難を克服するための授業の提案を行うこととし、メディアを使用し、効果、限界などを理解した上で、あらゆる場面で活用できる能力を身に付けることを目標とした。

③ 授業の仕組みとICTを用いた授業シナリオは、卒業時点での学習の成果達成を目指す授業の仕組みと学習到達度の評価方法を検討した。

- ・卒業するまでの学習期間を通じた授業改善モデルとする。

- ・グループでケーススタディ、メディア作品の制作、学習支援システム、教員や学生相互の意見交換で力を付けさせる。

- ・メディア作品をグループ等で制作し、作品の相互評価を行い、教員のコンソーシアムや社会に評価を問うことで到達度を確認する。

④ ICTを用いた学習内容・方法、期待される効果については提案する授業の一例として、整理した。

⑤ ICTを用いて期待される効果以下を整理した。

3. 教育改善モデル1について

前回までの検討を踏まえて、委員から教育改善モデル1について説明があり、見直しを行なった。

(1) 提案の概要

委員から資料を基に報告があり、コミュニケーションの役割・仕組み・スキルを身に付けさせるための授業モデルとして、「コミュニケーションに関連する課題の設定を行わせ、解決に必要な知識を自ら獲得させることで知識の活用力の習得」を目指すこととした。

(2) 検討内容

- ① 到達度として学生が身につける能力を学士力の到達目標の到達度に合わせた。
- ② 授業のねらいとしては、到達度に掲げた能力を達成する授業の一例、到達度の達成の困難な背景と困難を克服するための授業の提案を行うこととし、コミュニケーションの知識、事例を使えるスキルを活用できる能力を身に付けることを目標とした。
- ③ 授業の仕組みとICTを用いた授業シナリオは、初年次から2年生を対象とするが、上級学年生においてもインターンシップを経験させることで、学習の成果達成を目指す授業の仕組みを検討した。
 - ・卒業するまでの学習期間を通じた授業改善モデルとする。
 - ・グループで学習し、学習成果はネットに掲載し、社会、教員や学生相互の意見交換で力を付けさせる。
- ④ ICTを用いた学習内容・方法、期待される効果については提案する授業の一例として、整理した。
- ⑤ ICTを用いて期待される効果以下を整理した。

V. 次回の開催日程

メーリングリストにて日程調整。

近日中にサイバーFD研究委員へアンケートを実施する。